

# いのちの言の葉

「いのち」(道徳)

平成20年度 高岡市立福岡小学校 3・4年

富山県教育委員会 平成20年度いのちの教育支援事業 平成20年7月16日実施

「いのち」ってすばらしい

自分の体験をもとに、いのちのつながりやいのちのつながりを伝えることの大切さをお話していただきました。

## 山本 茂行先生のプロフィール

- ・ 富山市ファミリーパーク園長
- ・ 高岡市福岡町在住

### 【内容】

- ・ 幼いころの小矢部川の様子、遊び、いのちのつながり
- ・ いのちのつながりを伝えるファミリーパーク
- ・ 子供のころの夢を大切に
- ・ 「いのちの塔」の紹介

園長さんの話を聞いて、動物や人のいのちの重さ、大切さを知りました。いのちは一人に一つずつしかない、本当に大切なものだと思います。いのちは動物も人もみんな同じくらい大事なものだと思います。

いのちのことについていろいろと教えていただきました。ファミリーパークでは、一工夫することで虫がたくさん集まってくるようになったそうです。生き物にとって住みよいくらしを作ることによって、新しいいのちがたくさん生まれると思いました。

いのちの話を聞いて、人間は動物、植物などに助けてもらっているんだと思いました。豚や牛、鳥などの肉、魚や野菜などの動植物を犠牲にして人間は生きているから、動物たちにえらそうにしたらだめなんだと思います。動物たちを大切にしたいです。

人間はえらそうにしているけど、動物のほうがえらいように思いました。人間はたくさんのいのちをもらっているんで、動物がいなくて生きていけないと思いました。それに今の人間は、自然から離れていて、あまりいいことではないと思いました。私は自然が大切だと思います。だから、なるべく自然の中で遊んで自然を守って、動物のように、自分のいのちは自分で守りたいです。

